

2023.05.22

# それは、習近平の号令で始まった…、中国「金融大粛清」で給料50%カットの銀行員たちがたどる悲惨すぎる末路

福島 香織 ジャーナリスト

プロフィール

上海の国有商業銀行、浦発銀行のクレジットカードセンターの職員100人余りが5月11日、職場前で集団で座りこみ抗議を行った。また浦発銀行子会社の浦発理財の社員の給与が大幅に減給されたという情報もネットで拡散された。

浦発理財のある社員はもともと2万元（約39万円）あった給与が6260元にまで減給されたとSNSで訴えていた。この銀行の普通行員はおよそ50%の減給、主任級以上は40%減給が通達され、一部行員はこれに抵抗してストライキを行っているという。

こうした中国金融界の苦境は、米中分断や習近平の金融粛清と無縁ではない。経済の中枢を支える金融マンたちはすでにエリートではなくなっている。

前編『中国・金融界で「大量ハケン切り」が始まった！習近平の「金融粛清」で銀行員たちが叫ぶ悲惨な「断末魔」の中身』につづき詳しく見ていこう。



中国人民銀行 Photo/gettyimages

## 「金融ハケン切り」の悲惨な中身

浦発銀行の2022年の年次レポートによれば、クレジットカードセンターの職員数は1万1975人もいる。これは同規模の銀行と比較すると異様に雇用数が多い。たとえば同様規模の平安銀行クレジットカードセンターの職員1992人、興業銀行クレジットカードセンターの職員は1134人。

このことから、浦発銀行クレジットセンターは経営には無駄が多いのではないか、という株主からの疑問もかねてからあった。

派遣トラブルが続出

1 2 3 4 5 &gt;

記事をツイート

記事をシェア

記事をブックマーク

2023.05.22

それは、習近平の号令で始まった…、中国「金融大粛清」で給料50%カットの銀行員たちがたどる悲惨すぎる末路



プロフィール 福島 香織

ちなみに浦発銀行クレジットカードセンター社員・職員のうちおよそ1万人が人材派遣会社と契約した非正規雇用で、非正規雇用の契約社員の月給は1~2万円（約20万~39万円）だったという。

契約社員たちは新たな請負企業との再契約に際し、それまで所属していた人材派遣会社に対して勤続年数×月給分の退職金を支払うように要求したが、会社側はこれを拒否。また新たな請負企業が提示した給与は新人のもらう給与のように低かったという。

ある契約社員は月1万円あった月給が4000~5000元に下げられたという。

## 派遣労働者とトラブルが続出

この人材派遣会社は大手人材派遣会社、上海外服集団の子会社で、2016年におもに浦発銀行のクレジットカードセンターなどのアウトソーシング業務を請け負うために創設された。

銀行のクレジットカードセンターは銀行の子会社のなかでは特殊な存在で、業務そのものがアウトソーシングとして請負企業に丸投げされることが多い。銀行と請負企業間で代理契約協議を結び、請負企業がクレジットカードセンターの運営を行い、銀行自身はその運営に直接関与していない。

### 複雑すぎる雇用形態



2023.05.22

## それは、習近平の号令で始まった…、中国「金融大粛清」で給料50%カットの銀行員たちがたどる悲惨すぎる末路



プロフィール 福島 香織

中国でクレジットカードセンターが一時期、雨後の筍のよう誕生したが、経済が悪くなった現在、クレジットカードセンターは飽和状態になっており、いずれのセンターも業績悪化に悩んでいる。

そういう中で銀行側はクレジットカードセンターの縮小を進めようとするわけだが、銀行側が請負企業側に派遣社員・職員数を減らすように求めても、リストラされた派遣社員に対していわゆる労働法に基づく退職金支払い義務は銀行側がない。

その義務を負うのは人材派遣会社、請負企業だ。

だが、派遣会社、請負企業としては労働者の派遣先が変われば、給与や雇用条件の調整は当然と考え、契約社員とトラブルになりやすい。

浦発銀行の問題は、銀行の経営悪化、クレジットカードセンターの業績悪化と、人材派遣企業による専門的な業務アウトソーシング契約のトラブルが重なって複雑化したものだといえる。

## 銀行の叫び

&lt; 1 2 3 4 5 &gt;

2023.05.22

それは、習近平の号令で始まった...、中国「金融大粛清」で給料50%カットの銀行員たちがたどる悲惨すぎる末路

プロフィール 福島 香織

## 米中分断にあえぐ中国の銀行

だが本質は、中国の銀行業界の問題であり、それは中国経済全体の問題といえる。

近年の銀行市場は相対的に飽和状態で、銀行間競争の圧力は大きくなっている。北京はまだまだだが、急激に厳しくなっているのは上海で、クレジットカードや理財商品の銀行員の販売ノルマは重く、かつてほど銀行員は花形職業には思われていない。



中央銀行が発表した2022年第4四半期支払いシステム運行総体状況レポートによれば、2022年第4四半期末、全国で利用されているクレジットカード、デビット一体カードの総数は7.98億枚で、第3四半期よりも1.2%減少した。

上場銀行の年次リポートを見れば、一部銀行のクレジットカード発行量、流通量の増加速度は減速している。浦発銀行についていえば、2022年末、クレジットカード流通量は5133.16万枚で、前年同期比5.98%増で、これは2021年が前年同期比で10.78%であることと比較すると急減速といっている。

米中分断が銀行を苦しめる



2023.05.22

## それは、習近平の号令で始まった…、中国「金融大粛清」で給料50%カットの銀行員たちがたどる悲惨すぎる末路

 プロフィール 福島 香織

銀行保険監督管理委員会、人民銀行が2022年7月に発表した「クレジットカード業務ルール健康発展に関する通知」では、18カ月以上の取引がなく、当座貸し越し残高や過払いがない長期休眠カードが同じ銀行の発行するカード総数の20%を超えてはならないと規定された。

この比率を超えた段階で、銀行は新たなクレジットカードが発行できなくなるのだ。

中国ネットメディアの新浪財經によれば、浦発銀行の総資産は8.8億元あるが、その利益は3年連続で下落しており、行員給与は何度かにわけて引き下げられたという。

浦発銀行側は、この理由を国際地政学上の衝突がグローバル経済にマイナス影響を与え、今後の経済回復の見通しが不確実になっていることが原因だと説明している。

習近平がハマった落とし穴

< 3 4 5 6 7 >

2023.05.22

それは、習近平の号令で始まった…、中国「金融大粛清」で給料50%カットの銀行員たちがたどる悲惨すぎる末路

プロフィール 福島 香織

## 習近平のバブル退治の「落とし穴」

SNSなどで人気の財經評論家の蔡慎坤がこの浦発の問題の背景についてこんなコメントをネットメディアに寄せていた。

「これは中央企業の利潤が急減少しており、その結果生まれた不良債権の損を最終的に銀行が引き受けなくてはならないからだ。銀行はどこからも借金を取り立てることができないのだ」



習近平の金融粛清と不動産政策で銀行に異変が起きている Photo/gettyimages

特に習近平が2020年後半に発動した不動産バブル退治政策「三つのレッドライン」（不動産企業への資金調達制限など）による不動産市場の打撃がまだ回復していないことが大きいようだ。

習近平政権は今年に入って不動産政策の転換を打ち出し、不動産市場の回復を目指しているようだが、ゴールドマンサックスやUSBの予測を見ると、中国の今年の販売住宅面積予測はそれぞれ8%下落、10%下落としており、2022年の20%以上の下落と比べれば多少は改善するも、依然として苦境にあることに変わりない。

### 金融粛清とポピュリズム

< 4 5 6 7 8 >

記事をツイート

記事をシェア

記事をブックマーク

2023.05.22

それは、習近平の号令で始まった…、中国「金融大粛清」で給料50%カットの銀行員たちがたどる悲惨すぎる末路

 プロフィール 福島 香織

## ポピュリズムに滅ぼされる「中国金融」

習近平の不動産政策の失敗は、消費者の不動産市場への信頼を根こそぎ奪い、銀行は消費者の住宅ローン返済拒否問題とデベロッパーに対する投融資のエクスポージャー拡大の両方の圧力、リスクの板挟みという厳しい状況に陥っている。

さらに習近平の今年の政策の目玉は、金融機構改革で、腐敗撲滅を建前に金融機関に対する監督統制を強化することだ。また、習近平の掲げる共同富裕論にもとづき、銀行員の給与が高すぎるという世論も起きていた。

こうした中国の経済、社会環境の縮図が浦発銀行問題に表れたと言える。

滅びゆく金融エリート

< 4 5 6 7 8 >

2023.05.22

## それは、習近平の号令で始まった…、中国「金融大粛清」で給料50%カットの銀行員たちがたどる悲惨すぎる末路



プロフィール 福島 香織

銀行員だけでなく、証券マン、地方政府公務員、中央企業管理職などこれまで安定職業、高給取りのエリート、花形とよばれていた職業は今、新規採用が激減し、給与カットが繰り返され、リストラが進んでいる。

そして高額給与のエリートたちに対して「給与をもらいすぎだ」と批判する庶民の恨みが、習近平の「共同富裕」政策の錯誤を修正させるどころか、後押しする状況で、中国経済が悪化していく中で、金融エリートたち、安定花形職業は消滅していくしかない状況なのだ。

